

令和7年度「総合的な探究の時間」の年間授業計画

(第一学年：人間と社会)

1 単位時間の時間 (50) 分

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
1	4	全体オリエンテーション	「探究」とは何か。「探究」を学ぶ。	授業でのペアワーク、グループワーク等の取り組み	1
	5	探究 1 人間関係を築く 2 地域社会を築く 体験活動(防災・ボランティア)	以下の①～④について自ら課題を発見し、解決するために、情報の収集、整理、分析、グループワークを行う。	状況を、担任教員、及び体験活動先の担当者による評価を総合的に見て判断する。	2 2
	6				(4)
	7	3 進路 1 学期のまとめ	① より良い人間関係を築く上で大切なことを考え、今後の高校生活に活かす。(テキスト第1章) ② 地域社会を築くことについて学び、班ごとにテーマを選択、問いを決定する。 (「グローバル化」「環境問題」「さまざまな格差・不平等」「平和問題」) ③ 地域の活動に参加する。(テキスト第12章) 消防団や江戸川区地域防災課との交流により担架の使い方、人工呼吸法、AEDなど防災体験を行い、防災に関する知識と技能を身につける。 ④ 高校卒業後の進路について考える(本校「進路の手引き」冊子参照) 1 学期に班ごとに発見した課題と解決のプロセスを資料にまとめ、クラス内にて発表する。	授業時のプリントやワークシート、体験活動の活動計画書や活動報告書等を提出させ、その内容も評価する。	2 2 2 2 1 (内4時間 学期末実施)
2	9	1 学ぶことの意義 や働くことの意義	「探究」の実践例。以下の①～⑤について自ら課題を発見し、解決するために、情報の収集、整理、分析、グループワークを行う。		
	10				2
	11		① 学ぶとは何か。学ぶ意義について考える(テキスト第2章)とともに、働くことについて考える。(テキスト第3章) 東京税理士会との交流により、租税教室を開講、学ぶことや働くことを税金の観点から学ぶ。		2
	12	2 進路選択について 体験活動(職業)	② 自分の進路について考える。音響メカ・理容体験など職業人による体験活動を通し、進路について就業体験活動を行い、自身		2 1 2

	<p>3 文化の多様性 体験活動 (国際協力)</p> <p>4 人間関係を築く</p> <p>5 社会のしくみや、社会でよりよく生きるための姿勢について考える</p> <p>2学期のまとめ</p>	<p>の進路を考える。</p> <p>③世界の様々な文化について考える留学生を招いての異文化交流を行い、異文化理解の意義について、ディスカッションする。</p> <p>④ チームコンセンサスのワークショップを行い、合意形成の回り方や他者とのかかわりを学ぶ。</p> <p>⑤ 班ごとにテーマを選択、問いを決定する。(地域の伝統文化・観光や産業・防災・学校)</p> <p>2学期に班で自ら発見した課題と解決のプロセスを資料にまとめ、クラス内で発表する。</p>		<p>1 2 1 2 (内1時間 学期末実施)</p>
3	<p>1 自然と人間のかかわり</p> <p>2 実社会における「探究」体験活動 (ボランティア全般)</p> <p>3 1年間の総まとめ</p>	<p>「探究」の実践例。以下の①～④について自ら課題を発見し、解決するために、情報の収集、整理、分析、グループワークを行う。</p> <p>① 自然と人間のかかわりについて考え、環境保護の観点から、環境に関わる様々なボランティア活動を近隣地域で実施する。(テキスト第13章)</p> <p>② 江戸川区ボランティアセンターと協力し障がい者の生活について知る。 高齢者体験、手話、点字、白杖、車イス等の体験。体験活動で学んだ内容をまとめる。</p> <p>③ 体験活動を踏まえながら、以前班で発表した内容をより精査し、問いに対する解決策また新たに出てきた課題について、クラスを越え学年全体で発表を行う。</p>		<p>2 4 1 1</p>
配当時間数の合計				35

(第二学年)

1 単位時間の時間 (50) 分

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
1	4 ～ 7	・地域探究 I (修学旅行の事前指導も含む)	探究の過程 (①課題の設定、②情報の収集、③整理分析、④まとめ、表現、⑤新たな課題の設定) を体験的に学ぶ。 【指導内容】 ①探究のテーマ・地域の課題と仮説の設定 ②情報収集において多様な手段・多様な情報媒体の存在の認識、引用先や出典の明示。 ③収集した多様な情報からの取捨選択、信頼性等の比較、整理・分析、仮説の検証。 ④整理・分析した結果のわかりやすい示し方・伝え方 (模造紙、パワーポイント、新聞など)。 ⑤これまでの探究過程の振り返り。 新たに生じた疑問・課題の発見、現地調査の探究課題の設定。 ※修学旅行先を意識した課題設定をさせる。 校外学習の行き先の調べ学習・発表	授業でのグループワーク、探究活動等の取り組み状況及びワークシートの提出状況、発表内容等を、総合的に見て判断する。	9
			2		
2	9 ～ 10	・職業理解探究 ・地域探究 II	自己の進路探究 【指導内容】 ①事前の進路希望調査、進路概況等をもとに関心のある職業の決定。 ②情報の収集 ③得られた情報を整理・分析 ④まとめ、発表、展示、相互評価 ⑤外部機関と連携による職業講話 新たな課題を設定し、探究する 【指導内容】 ①探究のテーマ・地域の課題と仮説の設定 ②情報収集において多様な手段・多様な情報媒体の存在の認識、引用先や出典の明示。 ③収集した多様な情報からの取捨選択、信頼性等の比較、整理・分析、仮説の検証。 ④整理・分析した結果のわかりやすい示し方・伝え方 (模造紙、パワーポイント、新聞など)。 ⑤これまでの探究過程の振り返り。 新たに生じた疑問・課題の発見、現地調査の探究課題の設定。 ※修学旅行先を意識した課題設定をさせる。	授業でのグループワーク、探究活動等の取り組み状況及びワークシートの提出状況、発表内容等を、総合的に見て判断する。	7
			7		

3	1	・地域探究Ⅲ	現地調査を通しての最終発表	授業でのグループワーク、探究活動等の取り組み状況及びワークシートの提出状況、発表内容等を、総合的に見て判断する。	4
	2 ～ 3	・国際理解探究	国際社会を考える 【指導内容】 ①地域の設定、課題、仮説の設定。 ②情報の収集 ③得られた情報を整理・分析 ④まとめ、発表、展示、相互評価 ⑤外部機関との連携による講話		6
配当時間数の合計					35

(第三学年)

1 単位時間の時間 (50) 分

学期	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
1	● 進路探究 進路志望の明確化	● 進路希望調査等をもとにして「なぜ自分はその進路を志望するのか」という課題の探究。 ①自己の適性・関心の分析 ②上級学校研究・業界研究 各種多様な情報媒体、調査方法を駆使し、自分はその進路に進んだ後何がしたいのかの明確化。 探究の結果は原稿にまとめ、スピーチ、グループ面接等の形で発表。 ※民間就職希望者に関しては、企業見学の立案と実施。	授業でのグループワーク、探究活動等の取り組み状況及びワークシートの提出状況等を、総合的に見て判断する。	4
				5
				7
2	● 進路探究 進路志望・分野別の課題探究学習 <中間進捗発表> <最終まとめ>	● 進路志望とする学部や業界の現状と課題の探究、自分はどんなふうに活躍していきたいかの探究。 志望・分野が共通する生徒同士で少人数グループを編成し実施。新聞記事、図書の積極的利用。 進捗状況の発表 これまでの探究活動の成果ワークシートにまとめ、発表		8
				4
				5
3	● 進路探究 <卒業後の自己の展望>	卒業後の自己の展望について考察 ※ 生徒達の一部は後輩に発表。 この1年間の進路探究の歩み等を振り返り、後輩の参考となるように卒業生が語る会などで発表する。		2
配当時間合計				35